

大好き!!

せいろう幼稚園

5歳児 ジャがいも植え



『植物の生長に関心を持ち、収穫の喜びを味わう』というねらいのもと、園では様々な植物を育てます。先日18日に、5歳児が園の畑にじゃがいもを植えました。



切り口に“灰(あく)”っていう魔法の粉を付けると、砂の中で種いもが腐らないんだって(*´艸`)



「これが“種いも”っていいます。このくぼんでいるところから“芽”が出てくるんだって」

「**ここから**根っこが生えて、じゃがいもができます」



おいもが見えないように砂をかけて…



植えたあとは、おいしくなるおまじない…
「おいしくな～れ
おいしくな～れ😊」

ここからってどこから?～じゃがいも植え裏話～

「根っこはどこから生えてくるでしょう？」植える前に、担任が子どもたちに問いかけました。球根の水栽培を経験している子どもたちは、根っこは植物の下から生えてくると知っています。種いもの切り口の方を指さし「ここから生えてくると思う人？」という担任の問いに、ほとんどの子が手をあげました。「そうだね。この下から根っこが生えて、じゃがいもがたくさんできます◎」

「ん?!切り口から根っこが生える(?_?)」その場では「ここから生える!!」と自信满满で言い切った担任の勢いに押されてしまったものの、どうしても納得のいかない保育者は畑から直行で絵本の部屋へ…。

「…やばいぞ!根っこは芽の根元から生えるぞ…」すぐに担任に伝達(>_<)。無事に子どもたちにも伝えられました。「おいもからおいもができるんだ!」「球根は下から根っこが生えたのにどうしてかな?」などなど、じゃがいも植えの活動を通して発見したり不思議に感じたりした子どもたち。【学ぶ力】につながっていますね。

その日の夕方…「じゃがいもの植え方・芽や根の生え方、一生忘れません!!」と職員同士で誓い合いました(*´艸`)。



保育者のひとりごと

